

本件は、エネルギー記者会、経済産業記者会（経済部）、環境問題研究会で発表しています。

News Release

2010年1月19日

風力発電事業者懇話会

一般社団法人 日本風力発電協会

『風力発電等による低周波音の人への影響評価に関する研究』への協力について

先般環境省より、2010年度から風力発電施設等から発生する低周波音の人への影響を明らかにすることを目的とする研究を実施する旨の発表がありました。

弊二団体は、低周波音が人へ与える影響を明らかにすることを目的とした本研究の実施を歓迎するとともに、現地における計測の際に必要な風速や発電電力のデータ提供を行うなど、本研究に対して協力することとしました。

本研究により、一部の報道に有るような風力発電からの低周波音が、人へ影響を与えていると言った懸念が妥当かどうか判断できる様になると考えています。

なお、風力発電事業者のほとんど全ては、発電施設建設前に独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)殿発行の「風力発電のための環境影響評価マニュアル」や「地方公共団体の条例」に基づき環境影響評価を実施しております。

さらに、弊二団体は、2009年3月に「環境・騒音ワーキンググループ」を発足させ、地域社会に対して風力発電施設への一層のご理解をいただければ、環境影響調査項目および調査手法の標準化、ならびに発電施設に関する情報開示の徹底を旨とした風力発電事業者の自主規制ルールである「環境影響評価規程」の策定を進めております。(注)

弊二団体は、今後とも風力発電に関わる地域の環境保全に積極的に取り組むよう活動してまいります。

以上

(本件に関するお問合せ先)

風力発電事業者懇話会	高島 哲	090-5769-7002
一般社団法人 日本風力発電協会	斉藤 哲夫	090-5804-8013

(注) 2009年10月14日付け日本風力発電協会発表「風力発電の環境影響評価規程制定に関して(中間報告)」(<http://log.jwpa.jp/content/0000288774.html>)

<添付参考資料>

1. 風力発電を対象とした環境影響評価制度に関する意見(2009年12月11日)
「今後の環境影響評価制度の在り方について」ヒヤリング時の発表資料
2. 風車音と健康被害(アメリカおよびカナダ風力エネルギー協会報告書の抜粋版)
全文翻訳版は2月中に、JWPA ホームページに掲載予定 <http://jwpa.jp/>